

# 投資の逸品

投資先企業が生み出すとっておきを紹介します。

【つくった会社】 中興化成工業株式会社



ポンピドゥー・センター・メツ（フランス）の屋根の膜材

## 昼は空、夜は屋内の光をやさしく映す

### 誕生

生当時、斬新な建築がパリ市民を驚かせたジュールジュ・ポンピドゥー国立芸術文化センター、通称ポンピドゥー・センターは、フランス文化の発信拠点だ。

その分館であるポンピドゥー・センター・メツは、日本人建築家、坂茂氏の設計で、波打つような優美な白い屋根には中興化成工業が製造したふっ素樹脂膜材「FGTシリーズ」が使われている。

約8000㎡もの膜材は酸化チタンでコーティングされ、その触媒効果によって自ら汚れを落とし、真っ白な表面を維持する。FGTシリーズは軽くて強度に優れたグラスファイバーにふっ素樹脂を含まず、焼成したもので、300℃以上の耐熱性と不燃性、低温や紫外線の影響を受けない耐候性、埃や物質を洗い流すセルフクリーニング性、吸音性、透光率など多くの機能を持つ。二重膜構造にすれば、断熱効果も高い。半永久的にメンテナンスフリーで、少なくとも25年以上維持する実績を持っている。

中興化成工業がFGTシリーズを本格発売したのが1983年、同様のふっ素樹脂膜材を作るメーカーは同社を含めて世界に3社しかない。推定では国内シェアが95%、海外では30~35%だ。

現在までFGTシリーズの施工実績は1000件以上ある。うち海外は17カ国・200件で大型案件が多く、同社の全製品出荷量の7割を占めている。古くは霊友会弥勒山エアードーム、現在では東京ドームや県立カシマサッカースタジアムなどにも使われている逸品だ。

●主な事業内容：機能性樹脂加工製品の製造販売など ●本社所在地：東京都港区赤坂 ●社長：庄野直之 ●資本金：3億円 ●創業：1963年 ●従業員：405名